

No.
103



独立行政法人国立病院機構

静岡医療センター

NEWS

ニュース

私たちは生命を大切にし
社会から信頼される
高度で適切な医療を提供します



巻頭言 地域包括ケアシステムと期待される看護の役割を考える 看護部長 漆畑 久子	2
診療科の紹介 脳神経内科	3
専門職紹介 医療機関に勤務する救急救命士	4
トピックス 新しい仲間を迎えて	5
新任医師紹介	6
地域医療連携室	7
外来担当医表	8



◀静岡医療センター
ホームページ

発行：静岡医療センター／発行責任者：岡崎 貴裕／発行日：令和7年7月1日



地域包括ケアシステムと 期待される看護の役割を考える

看護部長 漆畑 久子

地域包括ケアシステムは、団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される仕組みです。今後も高齢化が進み、高齢者救急や在宅療養・介護のニーズも高まると見込まれていますが、それに対応する人材の確保は難しい状況です。だからこそ地域全体で協力し、支援をしていくシステムが必要なのだと思います。疾病を抱えても、自宅等の住み慣れた生活の場で、その人らしく生活を続けるために必要なサービスを提供するには、地域における医療・介護の関係機関が連携して、包括的かつ継続的な在宅医療・介護の提供を行うことが必要です。そして、どのような場面においても看護師の役割は大きいと言えます。

包括ケアシステムにおける急性期病院の看護師の役割としては、入院中の急性期治療への対応と日常生活を含めた看護ケア、退院後

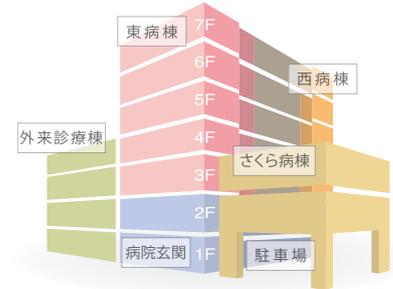
の生活に関する様々な支援ではないでしょうか。入院した当初から、退院後を見据えた介入や支援が必要です。看護師だけではなく理学療法士・作業療法士・言語聴覚士、栄養士、MSWなどの多職種連携や、地域の事業所との連携も支援の一つです。また、地域との連携を強化し、患者が安心して地域での生活ができるように医療と介護の橋渡しが、急性期の看護師に求められる役割だと思います。

看護師の重要な役割の一つに、何より患者・家族がどうしたいと思っているのか、その思いを支援することがあるのではないのでしょうか。急性期入院基本料の要件として、医療機関において、厚生労働省「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等の内容を踏まえ、適切な意思決定支援に関する指針を定めることが必要になりました。患者本人が、「自分がどのような医療・介護を受けたいか、逆に受けたくないか」の意思決定が重要で、その支援をすることが期待されています。

診療科の紹介

脳神経内科

脳神経内科診療部長
本間 豊



当院の脳神経内科は主に神経変性疾患、神経免疫疾患、筋疾患などの診療を行っています。神経変性疾患とはパーキンソン病・脊髄小脳変性症・多系統萎縮症・筋萎縮性側索硬化症などいわゆる神経難病と呼ばれる難治性の疾患で、神経細胞がさまざまな原因で変性する（細胞死を起こす）ことで発病する病気です。高齢化に伴いパーキンソン病の患者さんは増加しています。パーキンソン病は主に脳内のドパミンが不足することでさまざまな症状が見られる病気です。病気が進行してくると体が前後にくねくねと動いたり、口や舌がもぐもぐと動いたりするなど、体が勝手に動いてしまうジスキネジアなどの運動合併症が見られるようになります。ドパミン受容体の持続的の刺激がこの運動合併症を予防・改善しようと考えられていますが、これまでのレボドパ（脳内のドパミンの元になる）製剤は残念ながらすぐに血中から消失していくため頻回の内服が運動合併症予防に必要でした。ドパミン受容体に働くことができる他の薬品も使われてきましたが、副作用などの問題があり完全なものではありませんでした。そこでレボドパ自体を持続的に注入する方法が改善策として考えられてきました。レボドパ皮下注製剤は24時間持続的にレボドパを皮下に投与することでドパミン受容体持続的の刺激



ロボットスーツを用いた
実際のリハビリテーションの様子
(患者さんの同意を得て掲載しています)

を可能にする製剤です。当院ではこの製剤による治療を積極的に行っています。

また筋萎縮性側索硬化症などに対してはリハビリテーション部門と協力してロボットスーツHAL®を用いた治療も導入しています。ロボットスーツを用いたリハビリテーションはその他封入体筋炎や遠位型ミオパチーなどの患者さん方にも導入して効果を上げています。

さらに多発性硬化症・重症筋無力症・慢性炎症性脱髄性多発神経炎といった免疫系の異常で発病する疾患の診療も行っています。これらの疾患においては新規の治療薬が次々と処方できるようになっていますが、状態に応じてこういった新規薬剤も使用し治療に生かしております。



レボドパ皮下注製剤の使用イメージ

医療機関に勤務する救急救命士

救急救命士という言葉を知ると、救急車に乗っている人と想像しますよね!? そのとおり! 1991年、今から遡ること34年前に誕生した国家資格です。従来、日本の救急隊員は医療行為が認められておらず、「欧米と比較して救われる命が少ないのではないか? 医療資格を持った救急隊員を救急車に乗せよう!」という、あるキャンペーンが誕生のきっかけでした。当時、私も消防隊員として救急車の運転をすることがありました。救急救命士の資格を取得した先輩と一緒に現場に向かうと、救急現場のマネジメント、知識、技術、どれをとっても今までの救急隊員とは比べ物にならない活動が展開され、毎出場、先輩の現場対応力に圧倒されていました。救急救命士は救急車に乗り救急現場に赴き、混乱かつ危険、情報が非常に乏しい状況でも傷病者の命の緊急度判断を行い、救急救命処置を実施しながら医療機関まで速く安全に搬送するという重責を担っています。ウルトラマンのようにかっこよく現れて、アッという間に事件を解決してかっこよく去っていく……その姿を間近で見て、救急救命士になりました。さて、誕生から30年後の2021年に救急救命士法が改正されました。従来は傷病者を医療機関に搬送するまでという業務場所の制限が拡大され、医療機関の救急外来等で業務することが可能です。現在、院内委員会の設置、各種研修の受講、医師の具体的指示のもとで実施可能な救急救命処置については静岡県メディカルコントロール協議会による認定等、組織、職員に理解いただきながら安全第一で準備を進め、活動の場を広げています。では、なぜ、医療機関に救急救命士なのか。それは、救急救命士は学校で医療の基礎を学び、医療器材の乏しい救急現場で培われた五感を活用した状況および病態観察能力と応急対応能力（これが強み）、さらに限定的ですが従来医師が実施していた緊急時の医行為のタスクシフトの担い手となり得るからです。また年間約2000件にのぼる救急搬送を受け入れている当院において、消防機関及び地域メディカルコントロール協議会等の関係機関との橋渡し役として存在することも必要と考えます。まだまだ動き出したばかりの静岡医療センターの救急救命士ですが、地域に期待される救急医療機関であり続けるため、救急外来での活動以外にも、院内外における救急標準化教育活性化や救急需要増大への対処、災害時対応等、業務拡大の可能性を秘めています。今後とも、皆様方のご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



統括診療部 救急救命士
川口 出



トピックス

新しい仲間を迎えて

新年度がスタートして3ヵ月が経ちました。新人職員は、職場にも慣れ始め、毎日忙しくしながら頑張っています。

さて、今年度新しく、静岡医療センターの仲間となった新人職員の様子をお伝えします。

今年度は研修医、薬剤部、臨床検査部、リハビリテーション部、事務部、看護部合わせて68名を迎えました。社会人1年生となり、緊張の中新採用者オリエンテーションが始まりました。

国立病院機構の組織の概要をはじめ、当院の特徴、社会人としてのマナーなど、働く上で必要な知識を学びました。また職種を問わず身につける知識として、医療安全と感染管理について学びました。医療安全研修では、「指示されたことを正しく相手に伝える」ことを経験するため、伝言ゲームを行いました。初めて聞く言葉や難しい言い回しなど、正しく相手に伝えるためには、メモに書き留める、聞いたことを復唱するなど、確認することの大事さを体験しました。感染管理研修では、感染管理認定看護師による手指衛生と个人防护具の着脱を体験しました。手洗いをしても汚れが落ちにくい部位を確認し、正しい手指衛生を再確認できました。看護部は看護部の理念である「こころあるやさしい看護」についてディスカッションしました。1年後の自分の成長をイメージし、目標を定め看護の実践に期待を寄せていました。

現在は、これらの技術や知識を活用し、たくさんの業務を覚え、日々できることも増えていきます。まだまだ発展途上にある新人職員を全力でサポートできるよう支援してまいります。



看護師長

内田 美和子

研修の様子

感染管理



医療安全

伝言ゲーム
正しく伝えなければ...こんな看護を
していきたい「こころあるやさしい看護」
について考えました

新任医師紹介



外科
末永 勝士

これまで10年間鹿児島県の離島やへき地で地域医療に従事してきました。4月からは静岡の地域医療に貢献できるよう頑張りますので、よろしくお願いいたします。



外科
遠藤 洋己

4月より赴任いたしました遠藤と申します。大阪府出身です。地域の皆様に貢献できるように頑張りますので、よろしくお願いいたします。



外科
鈴木 達徳

4月より赴任いたしました鈴木と申します。精一杯頑張りますので、よろしくお願いいたします。



外科
今川 りさ

4月より赴任しました今川と申します。静岡の皆様にも少しでも貢献できるよう頑張りますので宜しくお願い致します。



歯科口腔外科
佐々木 佑伊

4月より赴任しました佐々木と申します。趣味はダイビング、スノーボード、モトクロスです。地域の皆様へ貢献できるよう頑張りますので宜しくお願い致します。



歯科口腔外科
千葉 洋輝

今年度より歯科口腔外科に赴任いたしました千葉と申します。神奈川県出身です。趣味はサッカーです。地域の皆様に少しでも貢献できるように頑張りますのでよろしくお願いいたします。



循環器内科
松田 龍信

初めまして。この度静岡市より転勤で赴任となりました。趣味はドライブやサイクリングです。循環器のことで何かありましたらお気軽にご相談下さい。どうぞよろしくお願いいたします。



循環器内科
中島 悠希

4月より赴任いたしました中島と申します。最善の治療を提供できるよう、日々邁進して参りますので、よろしくお願いいたします。



消化器内科
尚原 弘和

4月より勤務させて頂く尚原と申します。半年間と短い期間ではありますが、地域の皆様に少しでも貢献できるよう努めて参ります。よろしくお願いいたします。



心臓血管外科
後藤 博志

4月より赴任いたしました後藤と申します。心臓血管外科医として、地域の皆様に貢献できるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。



心臓血管外科
北尾 真友子

4月より半年間心臓血管外科として赴任いたしました北尾真友子と申します。短い間ですが、精一杯精進して参ります。御指導御鞭撻の程、よろしくお願いいたします。



皮膚科
齋藤 寛大

4月より赴任した齋藤です。静岡県東部地域の医療に貢献できるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



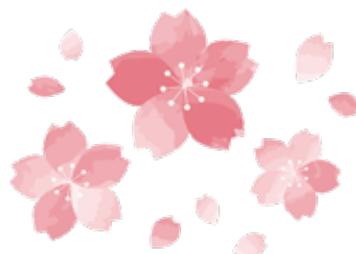
放射線科
小久保 亮

4月より赴任して参りました小久保と申します。3年ぶりの静岡医療センターでの勤務となります。地域の皆様のお役に立てるように努めて参ります。何卒宜しくお願い致します。



麻酔科
原 大悟

4月より麻酔科として赴任いたしました原と申します。地域の医療に貢献できるよう精進して参ります。よろしくお願いいたします。



地域医療連携室

連携医療機関紹介 NTT東日本伊豆病院

NTT東日本伊豆病院は、函南町にある東日本電信電話株式会社の企業立病院です。「予防・治療・リハビリテーション」を中心に、地域包括ケアシステムの中核病院としての役割を担います。リハビリテーションでは、2020年よりウェルウォーク WW-2000を導入し、脳卒中を発症した方の歩行機能の向上に力を入れています。多職種が連携して対象者の生活の再構築を支援し、在宅・社会復帰を目指すチーム医療を実践しています。訪問看護、訪問リハビリテーションでは、自宅復帰後のサポートを行い在宅生活が継続できるように支援します。また在宅で体調が悪化した時には、地域包括ケア病床での入院治療を行い、早期に自宅復帰できるよう外来・病棟・在宅と連携して対象者の皆さまを支えます。

予防医学では、地域住民を対象に健診と日帰り人間ドックのコースを設け、多数のオプション検査をご用意しています。女性の方には、レディースエリアを完備し、落ち着いて検査を受けることができます。疾病の予防と早期発見を行い、地域住民の健康増進に努めています。

地域の皆さまに必要とされる病院を目指しています。当院へ相談されたいことやご不明点がありましたら、地域医療連携センターへご連絡下さい。

診療科目：総合診療科・内科・呼吸器内科・リハビリテーション科・リハビリテーション精神科・整形外科・歯科・放射線科・内視鏡科・予防医学科（健診センター）・在宅診療科（訪問診療）

受付時間：平日 午前8:00～11:00（診察9:00～）
※午後はすべて予約診療になります。

精神科・歯科の受診については事前に電話連絡をお願いします。【Tel 055-978-2320代】

病床数：回復期リハビリテーション病棟：100床
一般病棟：内科 整形外科病床 20床
地域包括ケア病床 30床
精神科リハビリテーション病棟：46床

NTT東日本伊豆病院

〒419-0193 静岡県田方郡函南町平井750

TEL：055-978-2320

FAX：055-979-3098



◀ ホームページ



歩行訓練ロボット
“ウェルウォーク WW-2000”



院長 安田 秀



回復期リハビリテーション室

外来担当

	呼吸器内科	糖尿病内科	内科	腎臓内科	消化器内科		脳神経内科		リウマチ・膠原病内科	眼科		心臓血管外科		外科				呼吸器外科	小児科		産婦人科	脳神経外科		
	A-2	A-4	B-3	A-3	B-4	B-5	A-1 (再診)	A-1 (初診)	B-1	A-6	A-5	B-2	B-3	C-2	C-3	C-4	C-5	C-3	C-6	C-8	C-7	D-1	D-2	
月			北野 第1・3・5週のみ 内科担当医 第2・4週のみ 予約のみ			坂木 予約のみ		田中		片山	梅原			相馬	鈴木(達)	福島 乳がん 専門外来						高橋	黒田	
火	呼吸器内科 担当医 予約のみ	有安 予約・紹介状 のみ			大西 予約のみ		日向 予約のみ	日向 予約のみ	岡崎(院長) 予約のみ			波里	高木	腫瘍内科 担当医 伊澤	松下	高城	中野(良)	渡邊 予約のみ 第2・4・5火曜日	守田 フォロー・外来 第1・3火曜日		新槇	黒田	高橋	
水		糖尿病担当医 予約・紹介状 のみ	辻林 予約のみ			松田 予約のみ	本間	田中	飯田 予約のみ	片山	梅原			斎藤		田中(雄)		植松				山澤		
木	古屋 予約のみ	小林(秀) 予約・紹介状 のみ		若林 再診 予約のみ	大西 予約のみ		田中			片山	梅原	心臓血管外科 担当医	後藤	酒井	角	末永						山澤	高橋	黒田
金	本橋(典) 第1・2・3・5週 峯下 第4週 予約のみ	糖尿病担当医 予約・紹介状 のみ	内科担当医 予約のみ	堀川 第3金曜日 予約のみ	尚原 予約のみ	松田 予約のみ	鈴木(重)	鈴木(重) 予約のみ		片山	青木			石上	外科 担当医	尾崎						産婦人科 担当医	黒田	高橋

当医表

	整形外科			耳鼻咽喉科	泌尿器科		形成外科	放射線科		皮膚科		歯科口腔外科				循環器内科				緩和医療	ペインクリニック
	D-3 (整形)	D-4 (整形)	D-5 (整形)	E-2	E-5	E-6	F-1	F-1	F-2	F-3	F-4	G-1	G-2	G-3	G-4	H-1	H-2	H-3	H-4	F-緩和医療室	
月		小林(哲) 予約・紹介状 のみ	佐藤 予約・紹介状 のみ	小森	鈴木(祥) 予約のみ 診察9:00 ~10:30	間庭 予約のみ 診察9:00 ~10:30	大森 ※第3週は 予約のみ		杉山(彰)	斎藤(寛)	杉山(由)	輪番制 予約のみ 特診日(第1週)				田邊	松田(龍)	渡辺(允)			
火		渡邊(健) 予約のみ		池田 診察9:30~11:30	鈴木(祥) 予約のみ	間庭 予約のみ	吉原	小久保	斎藤(寛)	杉山(由)	新井	佐々木(拓)	千葉		田尻	川中	木村(慶)	國分	F-5 内田 (心理) 予約のみ		
水	大沢 予約のみ	入江 予約・紹介状 のみ	整形担当医 予約・紹介状 のみ	横山	鈴木(祥) 予約のみ	間庭 予約のみ		小久保	斎藤(寛)	杉山(由)	新井	佐々木(拓)	千葉		田邊	小鹿野	國分	古澤	中央処置室 井出 (午前) 予約のみ		
木		入江 予約・紹介状 のみ	渡邊(健) 予約・紹介状 のみ	荒井			諏訪	杉山(彰)	斎藤(寛)	杉山(由)	新井	(午後) インプラント 外来 予約のみ	佐々木(拓)	千葉	小杉 第1・3・5週	松田(龍)	田尻	田邊	中島	F-5 内田 (心理) 予約のみ	
金		小林(哲) 予約・紹介状 のみ	佐藤 予約・紹介状 のみ	荒井 診察14:00~16:00 受付14:00~15:30	鈴木(祥) 予約のみ	間庭 予約のみ	奥原 第2・4 金曜日のみ 予約のみ	小久保	斎藤(寛)	本田 第3週金曜のみ 予約のみ 診察14:30 ~15:30	杉山(由)	新井 予約のみ	佐々木(拓)	千葉	佐々木(剛)	渡辺(允)	川中	小鹿野			

◎上記の診察日は、休暇や学会出席等で変更することがありますので、詳しくは各科外来の掲示で確認して下さい。

- *脳ドック…………… 毎週 (月) (金)
- *皮膚科 (本田医師) …………… 本田医師に受診中の患者様のみ予約できます。
- *ペインクリニック (井出医師) … 井出医師に受診中の患者様のみ予約できます。

- *形成外科 (刈部医師) …………… 第3月曜日は爪処置専門外来となります。
- *認知症外来 …………… 毎週(月)、(火)の午後 予約のみ

一般内科の診療形態の変更について

内科医師の退職に伴いまして、令和6年4月以降の「予約の無い一般内科外来診療」は、一時的に休止とさせていただきます。
出来るだけすみやかに再開できるように医師確保に尽力しております。
ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解、ご協力のほどお願い申し上げます。

がん相談支援センターのご案内

相談日時：月～金曜日(要予約)(祝日・年末年始除く) 午前9時～午後4時
担当：静岡医療センター地域連携室 医療ソーシャルワーカー



独立行政法人 国立病院機構

静岡医療センター

〒411-8611 静岡県駿東郡清水町長沢 762-1

☎ 055-975-2000 FAX : 055-975-2725 紹介用 FAX : 055-975-1999

令和7年7月1日現在

